

平成28年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input checked="" type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	横田
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3425
事務事業名	4187 観光施設整備事業						
所 属	150300 産業振興部・商業観光課						
施 策	05042700 観光資源の活用						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	070103 商工費・商工費・観光費					
	事業	030000 観光施設整備事業					
事業目的				事業概要・効果			
観光客の皆様が、安全で快適に楽しんでいただけるよう、施設の整備を行う。				遊歩道の整備及び観光案内看板設置により、観光客の安全快適性を保護する。 クロスントリーコース増設のための測量・設計を実施し翌年度以降の工事に備える。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
観光案内看板設置工事 米子大瀑布遊歩道整備 峰の原高原テニスコート整備事業補助金	観光案内看板設置工事 米子大瀑布遊歩道整備 峰の原高原クロスントリーコース増設のための測量・設計
平成29年度 予定	平成30年度 予定
平成31年度 予定	平成32年度 予定

指標名	山間部での遊歩道の整備不足による事故件数				
算式	米子遊歩道整備不足による事故件数				単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標	0	0	0	0
	実績				
指標選定の理由	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。				
最終年度目標の根拠	遊歩道整備不足による事故を防ぐ。				
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		31,197	26,100
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	30,000	20,000
	その他	0	0
一般財源		1,197	6,100
人員数(人)	正規職員	0.4	0.5
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,883.2	3,604.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,883.2	3,604.0
市民一人当たりの経費		0.7	0.6
総額		34,080.2	29,704.0

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	1,197	工事請負費 1,197
19節 負担金補助及び交付金	30,000	補助金 30,000
その他	0	

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	23,800	測量、設計委託
15節 工事請負費	2,300	観光案内看板設置工事、米子大瀑布遊歩道整備工事
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	遊歩道の整備等は観光客の安全及び快適性を保護する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	観光客の安全が確保できている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	遊歩道の整備等は観光客の安全管理上必要不可欠	

振り返り（決算年度の取組み課題）
遊歩道の整備を行い観光客の安全が確保できている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>観光客の安全確保のため、財源確保を考慮しながら定期的に整備を実施。</p>		<p>観光客の利便性の向上のため、案内看板等の改修を行う。また、観光客や利用者の安全確保、混雑解消に向け、米子大瀑布の遊歩道整備、峰の原高原クロスカントリーコースの整備に向けた測量・設計を実施する。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	